

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年 9月 8日(金) 発行人：校長 森内 秀学

時津小の「点数化できる」学力の状況について

学力には、大きく分けて2種類あります。「点数化できる学力」と「点数化できない学力」です。今回は、そのうちの「点数化できる学力」の状況について、二つの調査を基にお知らせします。どちらも4月18日に行われ、このほど結果分析が終わりました。

一つ目の調査は、長崎県学力調査です。5年生は国語と算数、6年生は理科に取り組みました。5年生、6年生のいずれの教科も県の平均点を超えましたが、特に6年生の理科は良好で、5点近く上回りました。

一方、5年生が取り組んだ、国語の「考えを書き表す力」や算数の「基礎的な計算力」には、課題があることが分かりました。

二つ目の調査は、全国学力学習状況調査です。調査教科は国語と算数で、いずれも6年生が対象です。どちらも県の平均点は超えました。さらに算数は、全国の平均点も超えました。しかし、国語は惜しくも、全国平均を0.5点下回りました。

課題は、国語の「考えを書き表す力」と、算数の「計算や図形の意味を理解する力」でした。考えを書き表す力を見る問題は、全国的にも正答率が低いですが、本校も同様です。

この、5年生や6年生が取り組んだ調査で明らかになった課題は、1年生からの長い学びの中で積み残しがあつた部分です。ということは、子どもたちの学力テストの点数を今後に向けて上げるためには、5年生と6年生の担任だけががんばってもダメなのです。

そこで本校では、9月中に全教員が2学年分の調査問題を解き、受け持ちの子どもを指導する際に、どこに気をつければよいか話し合う時間を設けることにしています。

ご家庭でも、課題となっている部分にお子様取り組み、奮闘している際には、ぜひ関心を持ってお声掛けください。一緒に子どもの「点数化できる学力」を伸ばしましょう。



温暖化?クロマダラソテツジミ乱舞

最近、正門前のソテツの周りは、小さなチョウがたくさん飛んでいます。名前は、クロマダラソテツジミ。幼虫はソテツの若葉を食べて育ちます。

風に乗って、南方の国からやってくるものの、寒さに弱いため、これまで日本の冬

は越せないと言われていました。しかし、風に乗ってやってくる割には、とてもたくさん飛んでいます。上の写真にも3匹。ひょっとしたら、これも温暖化の影響かな?